

2月9日   水	2月10日   木	2月11日   金・祝	2月12日   土	2月13日   日
特集◆カメラマン   小林茂	特集◆“忘却”について	特集◆Yahoo 短編ドキュメンタリー選	特集◆“忘却”について	
11:30— 阿賀の記憶 55分	11:30— 荒野に希望の灯をともし ～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～ 88分	11:30— Happy Ainu 明日、声が溢れる THE BUTTERFLY 11分+10分+11分 ※他、3分の短編ドキュメンタリー3本を併映	11:30— 現認報告書 羽田闘争の記録 58分	10:00— コンペティション部門 入賞作品上映 入賞作品は2022年1月下旬に 公式サイトにて発表されます。 作品の総時間によっては、上映 開始時刻を遅らせる可能性が あります。詳しくは公式サイトをご参 照ください。
12:25—トークイベント オンライン参加 小林茂	13:00—トークイベント 谷津賢二	12:20—トークイベント 山田裕一郎、高島太士、 深田志穂、金川雄策	12:30—トークイベント 代島治彦、北井一夫	
山崎裕				
特集◆“忘却”について	特集◆“忘却”について	特集◆“忘却”について	特集◆“忘却”について	
13:40— 水俣一揆 —一生を問う人々— 108分	14:00— 二重のまち/ 交代地のうたを編む 79分	13:30— 記憶の戦争 79分	13:30— いまはむかし 父・ジャフ・幻のフィルム 88分	
15:30—トークイベント 山上徹二郎	15:20—トークイベント 小森はるか、瀬尾夏美	14:50—トークイベント イギル・ボラ	15:00—トークイベント 伊勢真一	
望月衣塑子◆セレクション	金平茂紀◆セレクション	特集◆“忘却”について	特集◆“忘却”について	特集◆“忘却”について
16:30— 燃え上がる記者たち 93分	16:30— 筑業哲也 NEWS23 「沖縄の基地なんか知らないよ ～東京・渋谷にて」 「詩人・山之口暎かよみがえるのだ」 「きみはコザ暴動を知っているか」 18分+13分+12分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。 チケットをお持ちの方から優先入場となります。	16:00— 尾崎豊を探して 95分	16:10— 東洋の魔女 100分	18:40— きわめてよいふうけい 43分
18:05—トークイベント 望月衣塑子	17:30—トークイベント 金平茂紀	17:35—トークイベント 佐藤輝	17:50—トークイベント オンライン参加 ジュリアン・ファロ	19:25—トークイベント ホンマタカシ
是枝裕和◆セレクション	諏訪敦彦◆セレクション	特集◆“忘却”について	森達也◆セレクション	
19:15— NNNFドキュメント'14 「反骨のドキュメンタリスト 大島渚 「忘れられた皇軍」という衝撃」 46分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。 チケットをお持ちの方から優先入場となります。	18:45— 抽象・家族 110分	18:40— ゲッベルスと私 113分	19:00— 理大囲城 88分	20:00— コンペティション部門 表彰式 / 閉会式 [審査員] 佐藤信 橋本佳子 足立正生 大島新 林加奈子
20:20—トークイベント 是枝裕和、鈴木あづさ、 大島新	20:35—トークイベント 諏訪敦彦、田中功起	20:35—トークイベント オンライン参加 クリスティアン・クレーネス フロリアン・ヴァイゲンザマー 有田浩介	20:30—トークイベント 森達也	

ZA-KOENJI  
Documentary  
Festival  
ドキュメンタリー  
フェスティバル

特集◆  
“忘却”  
について  
2月9日水 | 13日目  
タイムテーブル

★無料参考上映  
上記の作品に関しては、上映のみ  
無料にてご覧いただけます(上映  
後トークは有料です)。入場はト  
ークのチケットをお持ちの方から優  
先し、満席となった場合は入場を  
お断りします。  
●やむを得ない事情により、プロ  
グラム及び来場ゲストが変更にな  
る場合がございます。  
●全プログラムとも録画、録音機  
器、及びPCの会場への持ち込み  
は禁じられています。



# ZA-KOENJI Documentary Festival

[ゲスト・セレクター]  
望月衣塑子  
是枝裕和  
金平茂紀  
諏訪敦彦  
森達也

[トークゲスト]  
小林茂  
山上徹二郎  
大島新  
鈴木あづさ  
谷津賢二  
小森はるか  
瀬尾夏美  
田中功起  
山田裕一郎  
高島太士  
深田志穂  
金川雄策  
イギル・ボラ  
佐藤輝  
クリスティアン・クレーネス  
フロリアン・ヴァイゲンザマー  
有田浩介  
代島治彦  
北井一夫  
伊勢真一  
ジュリアン・ファロ  
ホンマタカシ

座 高円寺 冬の劇場22  
ZA KOENJI PUBLIC THEATRE  
主催 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会  
共催 (株)ドキュメンタリージャパン / (株)104  
提携 NPO法人 劇場創造ネットワーク / 座・高円寺  
協力 (株)neo P&T  
映像提供 太秦  
シクロ  
ロングライド  
きろくひと  
日本テレビ  
日本電波ニュース社  
東風  
TBSテレビ  
琉球放送  
田中功起  
Yahoo! JAPAN CREATORS Program  
スモモ / マンシースエンターテインメント  
テアトルプロモーション  
サニーフィルム  
アテネ・フランセ文化センター  
いせフィルム  
シネマドリフター  
リトルモア

## 2022年1月22日 [土] チケット発売開始

前売1回券¥1,300 (全日指定席・自由席・販売は上映の前日まで)  
ゲスト・セレクション [Pコード:551-897]  
特集上映 / コンペティション部門入賞作品 [Pコード:551-898]  
(当日券は¥1,500になります)

3回引換券¥3,500 [Pコード:468-125] (販売は2月8日(火)まで)  
会期当日、地下2階会場受付で、お好きな回(3回分)の日時指定チケットとお引き換えが必要です。  
ただし、前売券が完売の場合は、ご利用いただけません。  
確実にご覧になりたい場合は、通常の前売券のご購入をお勧めします。

- ◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての入賞作品をご覧いただけます。
- ◆「★無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には上映をご覧になったお席での観覧をお願い致します。
- ◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックスでのご予約に限り、1割引きになります。
- ◆今回はロビーの混雑を避けるために、整理券を配布します。整理券の配布開始時間は初回の上映開始1時間前を予定しています。

- 新型コロナ・ウイルス感染防止のため、ご来場の皆さまにも、入館時にマスクの着用、検温、手指の消毒のご協力をお願いしております。また、体調のすぐれない方、2週間以内に感染者との濃厚接触が確認される方は、ご来場をお控えくださいますようお願いいたします。
- ロビーの混雑を極力回避するために、上映開始30分前まではロビーに列を作らないようお願いいたします。
- 急速体調が悪くなった方、また濃厚接触者になってしまったなど来場が難しくなった方のためにチケット払い戻しの相談に応じます。上映開始の原則3時間前までに、座・高円寺でチケットを購入された方は座・高円寺チケットボックスまで、チケットびあでチケットを購入された方は、「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会までご連絡ください。ただし、チケットびあで購入された方も開催期間中は、実行委員会スタッフが会場に行ってしまう為、座・高円寺までお問い合わせください。
- 新型コロナ・ウイルスの感染が拡大してしまった場合、時間の変更や中止などが考えられます。最新の情報についてはHPをご参照ください。

## チケット取り扱い

| チケットびあ |  
直接購入 セブンイレブン(発売初日は10:00～)  
インターネット購入 チケットびあ <http://t2.pia.jp/cinema/>  
●お求めの際は、Pコードをご利用ください。

## | 座・高円寺チケットボックス | 月曜定休 |

窓口 10:00—19:00  
電話予約 03-3223-7300(10:00～18:00)  
WEB <https://za-koenji.jp/>

- ◆前売券は、全ての取扱場所、上映前日までの販売となります。
- ◆前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。
- ◆新型コロナ・ウイルス感染症を理由としない、お客様都合による前売り券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。



主催・お問い合わせ先  
「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会  
〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 和晃ビル1階 (株)ドキュメンタリージャパン内  
TEL:03-5570-3551 | FAX:03-5570-3550 Mail:[za.koenji.documentary@gmail.com](mailto:za.koenji.documentary@gmail.com)

QRコード | [公式HP] <http://zkdf.net>  
@zkdf\_net

映画・テレビの枠を超えた  
ドキュメンタリー映像の祭典  
開催期間 / 2022年  
2月9日水 | 13日日  
zkdf.net

特集◆カメラマン | 小林茂



**2.9 水**  
11:30—上映  
12:25—トークイベント  
ゲスト  
小林茂 (本作カメラマン)  
山崎裕 (プログラムディレクター)

阿賀の記憶

監督:佐藤真 2004年 | 55分 | カラー

恒例のカメラマン特集は、故・佐藤真監督作品でカメラをつとめた小林茂。デビュー作『阿賀に生きる』から10年。二人は再び阿賀の地へと向かう。かつて映画に登場した人々の多くは世を去り、荒れた田畑や主を失った家屋が残されるなか、映画作りや人々の「記憶」や「痕跡」を求め、カメラは回り続ける。

特集◆“忘却”について



**2.9 水**  
13:40—上映  
15:30—トークイベント  
ゲスト  
山上徹二郎 (映画プロデューサー)

水俣一揆 — 一生を問う人々 —

監督:土本典昭 1973年 | 108分 |モノクロ

1973年3月。熊本地裁判決で、水俣病におけるチッソの加害責任が明確にされ、慰謝料の支払いが命じられるなか、患者たちは生涯にわたる医療と生活の保証を求め、チッソ本社に乗り込んだ。人間と人間の向き合いを求めた息詰まる直接交渉の記録は、ジョニー・デップの主演の映画『MINAMATA』のモデルにもなった。

特集◆“忘却”について



**2.10 木**  
11:30—上映  
13:00—トークイベント  
ゲスト  
谷津賢二 (本作監督)

荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～

監督:谷津賢二 2021年 | 88分 | カラー

2019年12月、突如凶弾に倒れた医師・中村哲。パキスタン・アフガニスタンで35年間、医療支援のみならず用水路建設にも取り組み、干ばつに苦しむ砂漠を肥沃な土地に変え、人々の生きる場所を作っていた。残された1000時間の映像記録や文章から、中村の現地での実践や思索を読み解く。

# 第13回特集◆“忘却”について

ドキュメンタリーが記録として残してきたものには、私たちが決して忘れてはいけない社会的現実が数多くあるはず。今回は、私たちの“記憶”を触発する作品を選んでいきます。一方、ドキュメンタリーへの若者たちの関心は、テレビや映画館だけではなく、新しいメディアにも広がっていると感じています。そうした作品にも目を配りました。こうした時代にとって、ドキュメンタリーが持つ意味を改めて考える場になればと考えて、プログラムを組んでみました。

——山崎 裕 (プログラムディレクター)

特集◆“忘却”について



**2.10 木**  
14:00—上映  
15:20—トークイベント  
ゲスト  
小森はるか (本作監督)  
瀬尾夏美 (本作監督)

二重のまち / 交代地のうたを編む

監督:小森はるか+瀬尾夏美 2019年 | 79分 | カラー

2018年、岩手県陸前高田市を訪れた4人の若者たち。津波が壊したかつての町を知らない彼らは、人々の声に耳を傾け、対話を重ね、嵩上げされた2031年の陸前高田に暮らす人々を想像して描かれた物語「二重のまち」を朗読する。他者の話を聞き、伝え、語り直すことで立ち上がる、新たな“継承”の試みの記録。

特集◆Yahoo短編ドキュメンタリー選



**2.11 金・祝**  
11:30—上映  
12:20—トークイベント  
ゲスト  
山田裕一郎 (本作監督)  
高島太士 (本作監督)  
深田志穂 (本作監督)  
金川雄策 (本作監督)

Happy Ainu

監督:山田裕一郎 2020年 | 11分 | カラー

明日、声が溢れる

監督:高島太士 2019年 | 10分 | カラー

THE BUTTERFLY

監督:深田志穂 2019年 | 11分 | カラー

※他、3分の短編ドキュメンタリー3本を併映  
若手を中心に、様々な映像作家が結集する短編ドキュメンタリーの配信フォーム「Yahoo! JAPAN CREATORS Program」からセレクトした3本。アイヌの集落で育った娘の伝承をめぐる葛藤や、元妻と育てた3人の子供を想うトランスジェンダーの女性、生きづらさを告白する若者たち…彼らの姿から、日本の“いま”が見える。

特集◆“忘却”について



**2.11 金・祝**  
13:30—上映  
14:50—トークイベント  
ゲスト  
イギル・ボラ (本作監督)

記憶の戦争

監督:イギル・ボラ 2018年 | 79分 | カラー | 韓国

ベトナム戦争下の1968年、中部フォンニィ・フォンニャット村で、派兵された韓国軍兵士により発生した民間人虐殺事件。その生存者たちに、ベトナム参戦経験のある祖父を持つ韓国監督が向き合う。生々しい記憶や心の傷に耳を傾け、“加害の歴史”をどう受け止めるのか。冷静なカメラワークが光る。

特集◆“忘却”について



**2.11 金・祝**  
16:00—上映  
17:35—トークイベント  
ゲスト  
佐藤輝 (本作監督)

尾崎豊を探して

監督:佐藤輝 2019年 | 95分 | カラー

1992年26歳で夭折し、30年近く経った今もなお聴き継がれている歌手・尾崎豊。“十代の教祖”と呼ばれた彼の歌は何を伝えようとしていたのか。尾崎とも親交のあった伝説の映像作家・佐藤輝が、1981年の初ライブから何気ない日常まで、400時間にも及ぶ尾崎の映像の断片を丹念に拾い集め、放った執念の一作。

特集◆“忘却”について



**2.11 金・祝**  
18:40—上映  
20:35—トークイベント  
ゲスト  
クリスティアン・クレネス  
フロリアン・ヴァイゲンザマー (本作監督)  
有田浩介 (本作配給)

ゲッベルスと私

監督:クリスティアン・クレネス、フロリアン・ヴァイゲンザマー、オーラフ・S・ミュラー、ローラント・シュロットホーファー 2017年 | 113分 |モノクロ |オーストリア

第二次世界大戦中、ナチスの宣伝相ゲッベルスの秘書として3年間働いたブルンヒルデ・ボムゼルが、終戦後69年の沈黙を破って当時を語る。“ホロコーストについては何も知らなかった”と言葉を選んで語るボムゼルの証言に様々な資料映像が重なり、全体主義下で抑圧された人々の人生が浮き彫りにされる。

特集◆“忘却”について



**2.12 土**  
11:30—上映  
12:30—トークイベント  
ゲスト  
代島治彦 (映画監督)  
北井一夫 (写真家)

現認報告書 羽田闘争の記録

監督:小川紳介 1968年 | 58分 |モノクロ

1967年10月8日、時の首相・佐藤栄作のベトナム訪問を阻止しようと、羽田空港周辺で機動隊と学生らが衝突、京大生山崎博昭が死亡する。彼の死は「事故死」か、権力による「殺人」か? 証言や検証で真相に迫る作品を、昨年山崎と仲間のその後を描いた映画『きみが死んだあとで』を監督した代島治彦と共に観る。

特集◆“忘却”について



**2.12 土**  
13:30—上映  
15:00—トークイベント  
ゲスト  
伊勢真一 (本作監督)

いまはむかし 父・ジャワ・幻のフィルム

監督:伊勢真一 2021年 | 88分 | カラー

伊勢真一の父であり、記録映画の名編集者として知られた伊勢長之助は、第二次世界大戦中、「文化戦線」の一員としてジャワ島に派遣され、プロパガンダの国策映画を作っていた。父の足跡や製作した幻のフィルムを娘や息子と共に辿りながら、戦争を撮ること、それを受け継ぐことの意味を探る。

特集◆“忘却”について



**2.12 土**  
16:10—上映  
17:50—トークイベント  
ゲスト  
ジュリアン・ファロ (本作監督)

東洋の魔女

監督:ジュリアン・ファロ 2021年 | 100分 | カラー | フランス

1964年、1回目の東京オリンピックで金メダルを獲得した女性バレーボールチーム「東洋の魔女」にフランス人監督が迫る。猛特訓で鍛え抜かれた彼女たちに、なぜ日本中が熱狂したのか? 当時の記録映画やアニメ「アタックNo.1」など、膨大なフッテージに彼女たちの現在の姿を織り交ぜ、その秘密を解き明かす。

特集◆“忘却”について



**2.13 日**  
18:40—上映  
19:25—トークイベント  
ゲスト  
ホンマタカシ (本作監督)

きわめてよいふうけい

監督:ホンマタカシ 2004年 | 43分 | カラー

1960-70年代、先鋭的な作品や評論で時代の先端を駆け抜けた写真家・中平卓馬。1977年、酒が原因で昏睡状態に陥り過去の記憶を失うが、再び写真を撮り始め、2015年に亡くなるまで精力的に活動を続けた。2000年代の中平の日常を穏やかに映し出したポートレートムービーを、追加ショットを加えたバージョンで上映。

ゲスト◆セレクション



**2.9 水**  
**燃え上がる記者たち**  
監督:リットウ・トーマス、スシュト・ゴージュ 2021年 | 93分 | カラー | インド  
インド北部で、被差別カースト「ダリト」の女性たちがニュースメディアを立ち上げる。覚えたてのスマートフォンを片手に粘り強く取材相手に迫り、大手メディアが取り上げない不正や性暴力の問題をウェブで発信し、影響力をつけていく様を、彼女たちのコミュニティや現場での奮闘を通して描いた話題作。



**2.9 水**  
★無料参考上映 (上映後トーク有料)  
NNNDキュメント'14  
**「反骨のドキュメンタリスト 大島渚 『忘れられた皇軍』という衝撃」**  
ディレクター:鈴木あづさ 2014年 | 46分 | カラー | 日本テレビ  
2013年1月に世を去った大島渚が、1963年、日本テレビの「ノンフィクション劇場」で手がけた『忘れられた皇軍』。補償なき在日韓国人傷痍軍人の街頭活動に強い憤りを持って迫る大島のカメラは何を告発しようとしていたのか。妻・小山明子や当時のスタッフの証言を軸に、是枝や田原総一朗と検証する。



**19:15—上映**  
入れ替え  
**20:20—トークイベント**  
ゲスト  
是枝裕和 (映画監督)  
鈴木あづさ (本作ディレクター)  
大島新 (ドキュメンタリー監督)



**2.10 木**  
★無料参考上映 (上映後トーク有料)  
筑紫哲也 NEWS23  
**「沖縄の基地なんか知らないよ〜東京・渋谷にて」**  
1998年 | 18分 | カラー | TBS 取材:金平茂紀 映像提供:TBSテレビ  
**「詩人・山之口夔がよみがえるのだ」**  
1998年 | 13分 | カラー | TBS 取材:金平茂紀 映像提供:TBSテレビ  
**「きみはコザ暴動を知っているか」**  
1997年 | 12分 | カラー | TBS 取材:金平茂紀 映像提供:琉球放送



平成を代表する報道番組であり、金平も8年にわたり編集長をつとめた「筑紫哲也 NEWS23」から、とりわけ筑紫や金平が関心を寄せた沖縄関連のVTRを特別に上映。沖縄出身の詩人・山之口夔の特集をはじめ、問題の表層のみならず、沖縄出身者の心情や本土と沖縄の意識の落差にも斬り込んだ3本。



**2.10 木**  
**抽象・家族**  
監督:田中功起 2020年 | 110分 | カラー | 日本・シンガポール  
共に海外にルーツを持つが、出自も性別も年齢も異なる4人が、ひとつ屋根の下で「家族」を形成し「外国人」とみなされる日本で生活する悩みを打ち明ける。スタジオでは抽象絵画を制作し、フィクションとリアルが交錯する空間で協働する彼らが問うものは? 2020年のベルリン国際映画祭でも上映された意欲作。



**18:45—上映**  
20:35—トークイベント  
ゲスト  
諏訪敦彦 (映画監督)  
田中功起 (本作監督)



**2.12 土**  
**理大囲城**  
監督:香港ドキュメンタリー映画工作者 2020年 | 88分 | カラー | 香港  
2019年11月の香港。民主化を求める若者と当局の対立が激化するなか、香港理工大学のキャンパスが警察に包囲され、デモ隊は籠城を余儀なくされる。長期化する封鎖に学生は疲弊し、やがて白旗を挙げる者も現れる。銃口を向けられ緊迫するデモ隊を内部から捉えた匿名の映像が、息苦しい香港の現状に重なる。



**16:30—上映**  
**18:05—トークイベント**  
ゲスト  
望月衣聖子 (東京新聞記者)



**19:15—上映**  
入れ替え  
**20:20—トークイベント**  
ゲスト  
是枝裕和 (映画監督)  
鈴木あづさ (本作ディレクター)  
大島新 (ドキュメンタリー監督)



**16:30—上映**  
入れ替え  
**17:30—トークイベント**  
ゲスト  
金平茂紀 (ジャーナリスト)



**18:45—上映**  
20:35—トークイベント  
ゲスト  
諏訪敦彦 (映画監督)  
田中功起 (本作監督)



**19:00—上映**  
**20:30—トークイベント**  
ゲスト  
森達也 (映画監督・作家)